



Daiichi-Sankyo

米国Plexxikon社の買収について

-癌領域の強化を目指したWorld Class のパイプライン強化-

2011年3月1日

第一三共株式会社
代表取締役社長 兼 CEO
中山 讓治

1. 買収の戦略的意義
2. Plexxikon社の概要
3. 買収の概要



Daiichi-Sankyo

買収の戦略的意義

2015年までにWorld Class のパイプラインを確保

- 市場でのプレゼンス獲得
- POC試験開始の加速
- 新製品および新適応症での上市の加速
- 複数の新成分によるパイプラインの充実
- World Classの創薬能力と組織

内部プロジェクトの推進
ライセンス・M&Aによる外部資源の取り込み
継続成長を支える研究開発力・技術基盤の確立

癌領域の共同研究および開発状況

探索研究

前臨床段階

Phase I

Phase II

Phase III

申請中

低分子

抗体

AKIP™



ARQ 197
c-MET inhibitor



Scaffold-Based
Drug Discovery™

PLX3397
FMS/KIT



PLX4032
BRAF

Efatutazone
PPAR γ

Max Planck Institute
of Biochemistry



KINAXO

Nimotuzumab
EGFR Ab

Denosumab
RANKL Ab

SeattleGenetics BIOINVENT

Alliance for antibody
Technology

BioWa

morphosys

U3 PHARMA

Innovative antibodies

U3-1565
HB-EGF Ab

U3-1287
HER3 Ab

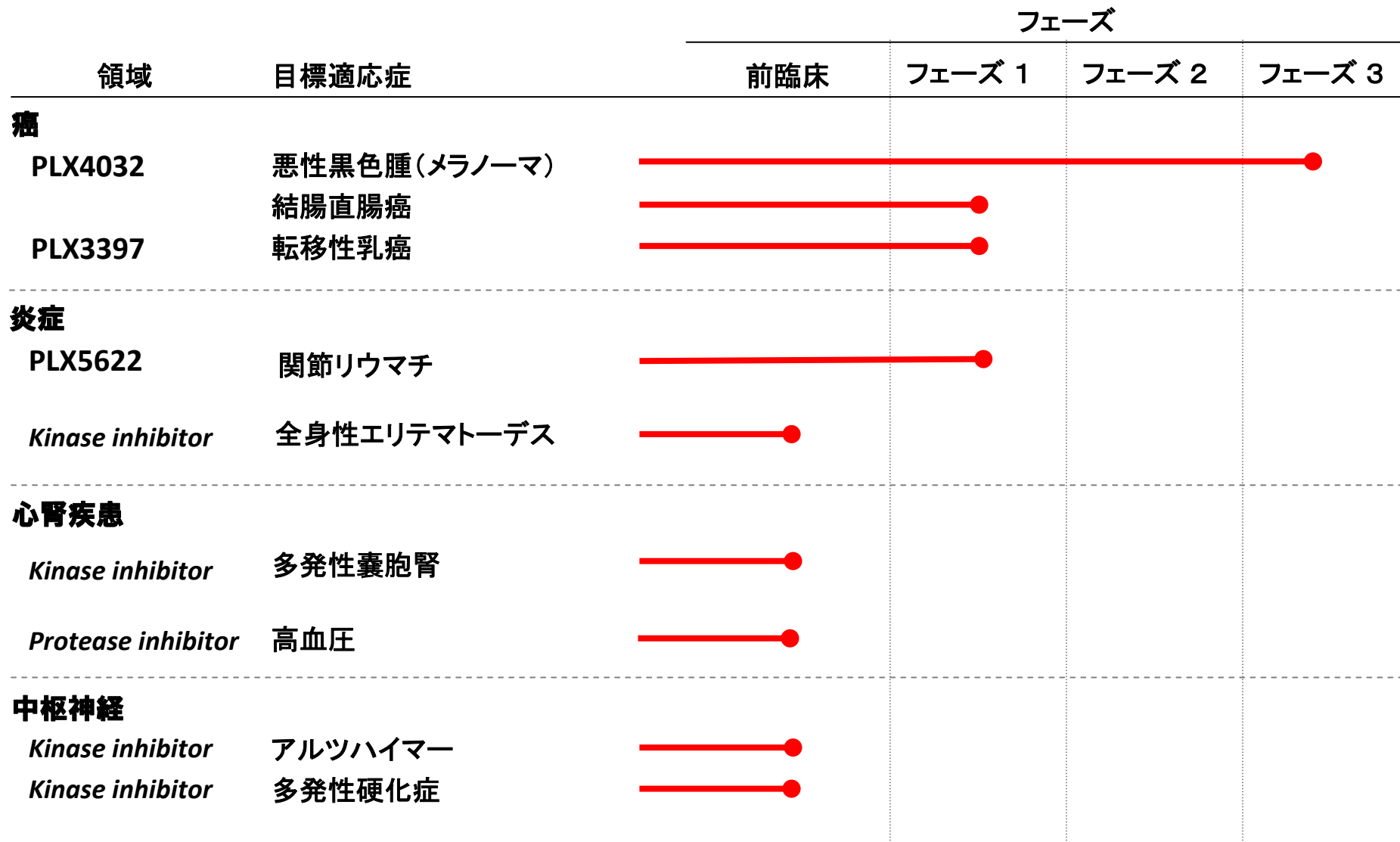
Tigatuzumab
DR5 Ab

In-house projects

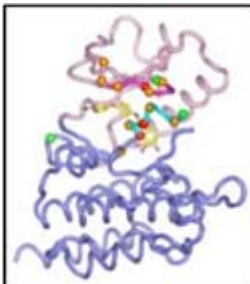
In-licensed projects

U3/Plexxikon projects

Plexxikon社の新薬パイプライン



Scaffold Based Drug Discovery™ とは



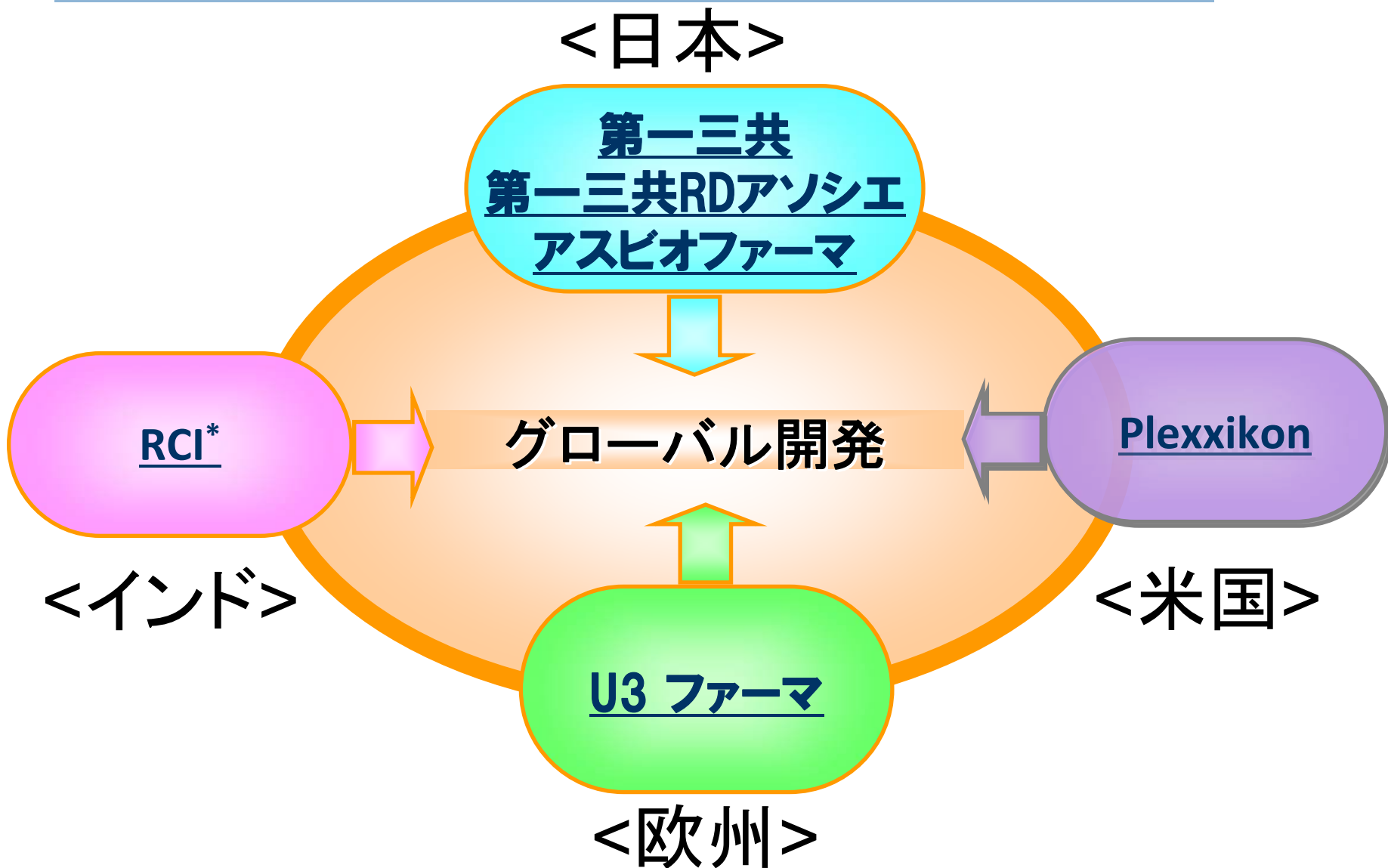
母核となる化合物ライブラリーをスクリーニングし、創薬ターゲットとなる蛋白質との共結晶を行うことにより、効率的に創薬する技術

- 新規の低分子母核
- 効率的な誘導体合成
- 様々なターゲットへの応用



- 強い権利性(知的財産)
- 高い選択性と薬理作用
- 癌領域以外にも応用可能

グローバル研究機能の拡充



* Daiichi Sankyo Life Science Research Centre in India

Plexxikon社の概要

Plexxikon社の概要

✓ 2001年カリフォルニア州バークレーにて設立(非上場)

✓ 代表者

K. Peter Hirth, Ph. D.



Plexxikon

✓ 従業員数

約45名

✓ 主要研究開発領域

癌, 炎症, 心腎疾患, 中枢神経

Plexxikon社の魅力



Daiichi-Sankyo



人材/ネットワーク

✓科学的才能に富んだスタッフとアドバイザー




市場参入

✓欧米において2011年中に販売承認申請を予定する製品を保有
✓ロシュとの提携




適応症

✓癌領域で患者増加率が最も高い疾患のひとつであるメラノーマの治療薬を開発中



ポートフォリオの合致

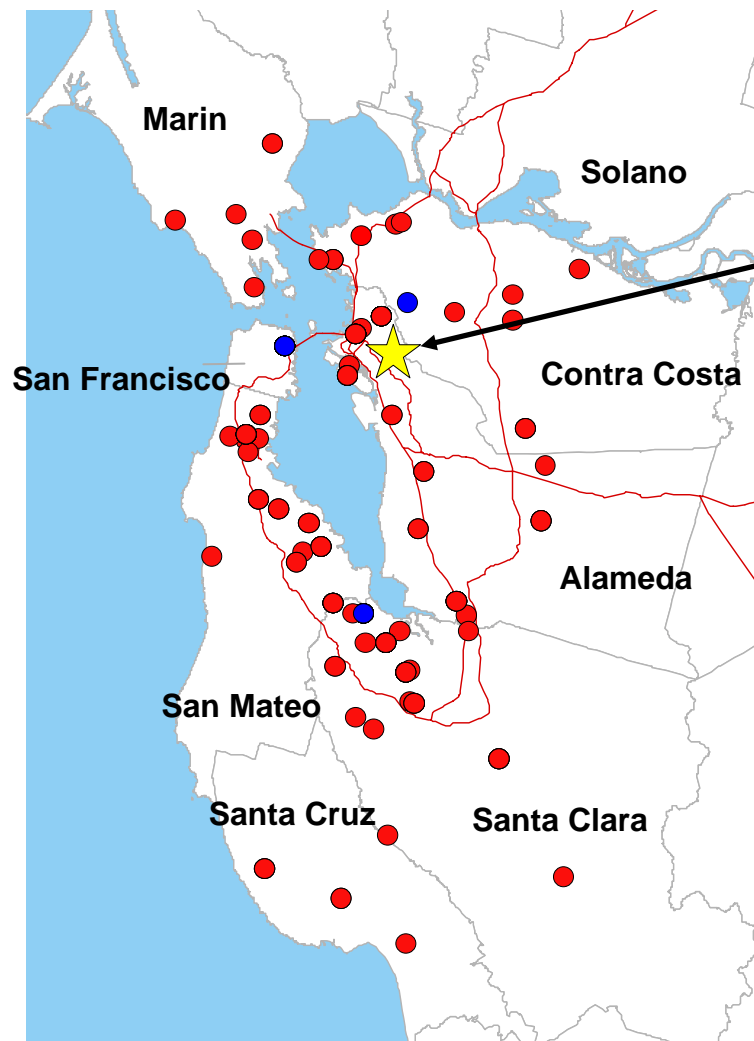
✓個別化医療の基盤を構築する機会



研究開発拠点のロケーション

✓バイオテックが集中しているバイエリアにおける研究開発拠点

サンフランシスコ・ベイエリア



Plexxikon

- Pharmaceutical Company
- Top-tier university

✓ 全米屈指のライフサイエンス
研究が盛んな地区

✓ バイオテックコミュニティと
世界的に有名な3つの大学

- ✓ **目標適応症（初回）： BRAFの遺伝子に変異のある
悪性黒色腫（メラノーマ）**
- ✓ **現在の臨床ステージ： フェーズ3（BRIM3 trial）
フェーズ3の中間解析で主要評価項目（OS & PFS）を達成
（2011/1/18 Plexxikon社発表）**
- ✓ **提携先： ロシュ**
- ✓ **診断薬もロシュグループと開発**
- ✓ **欧米において2011年中に販売承認申請予定**

PLX4032に関する権利

✓ ロイヤリティ

- ・ランニング・ロイヤリティーを受領

✓ 米国におけるロシュとの共同販促権

- ・米国子会社の第一三共INC. が行使予定

買収の概要

✓ 全株式取得を合意

- ・ クロージング後：805百万米ドル
- ・ マイルストーン達成時：最大130百万米ドル

✓ 業績に与える影響は、確定後に改めて発表予定

Memo



Daiichi-Sankyo



Memo



Daiichi-Sankyo



本資料に関するお問い合わせ先

第一三共株式会社
コーポレートコミュニケーション部

TEL: 03-6225-1126（報道関係者の皆様）

03-6225-1125（株式市場関係者の皆様）

本資料における将来の予想等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく弊社の判断や仮定によるものであり、リスクおよび不確実性が含まれております。したがって実際の業績等は、予想数値とは異なる結果となる可能性があります。